

虹を見つける ～虹作り～

社会福祉法人謝徳会 るんびに一保育園（愛知県岡崎市） [5歳児]

＜知っていたことと違う事象に不思議さを感じ探求する事例＞

物的環境（主な遊び）	子どもの姿
メダカの水槽 虹に関する絵本 (虹を見付ける)	メダカの水槽の中に虹が映っていることに気付く。虹は外でしか見えないと思っていた子どもたちは、虹が水の中に見えることに不思議を感じる。他にもいろいろなものから虹が見えるのではないかと気にするようになる。水槽の虹は観察する場所や時間によって見えたり見えなかったりすることにも気づき、好奇心が膨らみ変化や違いを楽しむ。
シャワーの水 手作り霧吹き (シャワーの水で虹を見付ける)	シャワーの水で虹ができることに気付く。「虹は空に見える」と思っていたが、地面の近くにも見えることを発見する。フィルムケースとストローで作った霧吹きを使い、どのような所で虹が見えるか試して遊ぶ。シャワーはよく見えるので、水力や水量に関係するのではないかと気付く。
4等分に切り、アルミのラベルを剥がしたCD (いろいろな光で虹探し)	<p>○室内で白熱灯の光を見る</p> <p>A 児「わあ～、見えた！虹だ」と喜び、蛍光灯を見つめる。保育者が「どんな虹が見えるの？」と尋ねると、A 児は「メダカの水槽で見えたのと一緒に」と自信をもち答える。B 児が「いろいろな色があるね」とA 児に話し掛けると、A 児は「うん！赤とオレンジと黄色と…緑に青に…紫もある！」と色を探し、「水が無くても虹って見えるんだあー！」と驚き、感動する。</p> <p>C 児が「CD で電気を見ると虹が見えたよ」と蛍光灯(上)を見る。D 児は「でも床を見ると虹が綺麗に見えないよ」と床(下)を見る。C 児は「本当だ！何で上と下では虹が違う風に見えるんだろう？」と疑問が膨らみ言うと、D 児「分かった！上の方が、光がいっぱい入るから綺麗に見えるんだよ」と自分なりに答えを導き出す。</p> <p>○暗い倉庫で、電球の光を見る</p> <p>E 児は「いろんな色が見えない。白と黄色と…緑。何か部屋で見た時と違う」と不思議そうに電球の光を見て色を探す。「部屋の方が、綺麗に虹が見えたなあ」と違いに気付く。</p> <p>○戸外で太陽の光を見る</p> <p>「外だと虹が沢山見えると思ったけど、眩し過ぎて見えにくいね」「部屋の電気が一番見やすかったね」と友達と納得する。</p> <p>○ロウソクの火を見る</p> <p>「わあ～、綺麗！火でも虹が見えるんだ！」と驚き、ロウソクの火を真剣に見つめている。「何か虹が火の形してる！ユラユラ動いてるよ」と今までとは違う虹の形に気づき、感動する。しばらくの間、いろいろとCD を移動させながらロウソクの火を観察している。「こうやって見ると良く見えるよ！」とロウソクの向こう側にCD を持って見ている。この様子を見て友達が真似をして見る。さらに、友達同士でやり取りしながら、いろいろな角度を変えて試し、意欲的に虹探しをしている。</p>
ブラックボード (シャボン玉で虹探し)	シャボン玉にも、虹が見えることを発見する。室内や戸外のいろいろな所でシャボン玉の虹を見たことで、戸外の虹の方がキラキラ輝いて見えることに気付く。



みどころ

水槽に虹を見つけたことがきっかけになり、虹探し遊びが展開しています。水槽やシャワーで虹を見付ける場面はこの園でも見られます。そこから、自分なりに虹探しができるような手作りの教材「霧吹き」や「CD」が環境にあることで、さらに、白熱灯や暗い部屋の電球、ロウソクの火などに幼児なりに思いをもってかかわり、楽しみながら「科学する心」が育まれる体験を重ねています。